

第3回 名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)問題対策
特別委員会会議録

1. 招集年月日 令和7年3月7日
2. 招集の場所 御嵩町役場 議場
3. 開 会 令和7年3月7日 午後1時00分 委員長宣告
4. 協議事項
 - (1) 中間報告について
 - (2) 次回委員会の開催日程について

議 事 日 程

令和7年2月10日(月曜日) 午後4時25分 開議

1 委員長あいさつ

2 議長あいさつ

3 協議事項

(1)中間報告について

(2)次回委員会の開催日程について

4 その他

出 席 委 員(11名)

委 員 長 山 田 徹

副 委 員 長 広 川 大 介

委 員 谷 口 鈴 男

委 員 岡 本 隆 子

委 員 高 山 由 行

委 員 伏 屋 光 幸

委 員 奥 村 悟

委 員 清 水 亮 太

委 員 鈴 木 秀 和

委 員 可 児 さとみ

委 員 鈴 木 篤 志

その他出席した議員

議 長 大 沢 まり子

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長 日比野 浩 士

議会事務局
書記 井 戸 芳 枝

委員長(山田徹さん)

皆さんこんにちは。

午前中の各中学校での卒業式お疲れ様でした。それぞれ体育館が本当に寒かったという話を皆さんからお聞きしております。午後から暖かい議場で短時間で終わらせたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、ただいまの出席委員は11名で定足数に達していますので、これより名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)問題対策特別委員会を開会致します。

はじめに議長からご挨拶をお願い致します。

議長(大沢まり子さん)

皆さん本当に午前中は寒い中、中学校の卒業式お疲れ様でした。

第3回特別委員会ということでございますので、短時間で終わるというお話でしたけれども、しっかり意見交換していただきながら充実した委員会となるよう、よろしくお願い致します。

委員長(山田徹さん)

はい、ありがとうございました。

それでは協議事項に入らせていただきます。

中間報告について協議したいと思います。

当委員会は、名鉄広見線の現状把握及び存廃に関する調査研究及び名鉄広見線利用者の移動手段確保に係る調査研究を付託されておりますが、町が今年の6月をめどに名鉄広見線の問題に結論を出す方向であることから、今定例会で委員会で議論した内容について報告を行う必要があると考えます。ついては3月19日定例会最終日に委員長の中間報告を行うことについて、ご協議をお願いしたいと思います。

それでは委員さんでご意見ある方、よろしくお願い致します。

鈴木秀和委員。

委員(鈴木秀和さん)

中間報告はその通りなんですけれど、今日って具体的な案を出してくださいという宿題じゃなかったでしたか。そういう意味でそれも中間報告に繋がるということであれば、一応意見書を出させてもらってるんで意見書について述べたいと思うのですが、いかがでしょうか。

委員長(山田徹さん)

ただいまの鈴木委員から意見が出されましたので、まずは鈴木委員からの説明をいただきたいと思います。

鈴木秀和委員。

委員(鈴木秀和さん)

前回の宿題ということで、皆さん基本的には残す方向で進めたいよねというのがあったと思うんですけど、具体的にどう進めるのっていう話をやっぱり少し詰めないといけないんじゃないのっていうことで意見を出しましょうということでしたので、意見を書かせていただいています。

まず問題提起ということなんですけれど、基本的には残す方向何ですけれど、今残す案としてはみなし上下分離しかないわけですね。みなし上下分離ってよくよく見れば、今までと何も変わらないんですよ、基本的には。要するに補助金が支援金じゃなくなる可能性もあるんですけど、いわゆる1億8,000万円出して今までのように運転してください、基本的にはそういう内容なんです。残念ながらもしそうなった場合にどう改善していくか、どう収入を増やすか、そういう面は何も変わらないという話なんです。更にですね、これから人口が間違いなく減るわけですし、色んな方が高校の統廃合はどうなるのか分からないと言っているわけですので、15年この状況さえ続けばいいのかということで、どなたかも説明会で言っていたんですけど、遠くならない先にまた廃線の話が出るでしょうと。ということで、どう考えてもみなし上下分離では単に延命措置をするだけじゃないのと。そういう感じがしてなりません。まずそれが1点。もう1点が金銭面ですね。今1億8,000万円出しなさいよと、1億円は運転に関わる費用、8,000万円はいわゆる投資ですね、修繕とか投資に関わる費用ですけど。これまで負担してきた1億円であれば何とか継続できそうな感覚ですけど気がします。それはなぜかというと、庁舎なんかの収支計算をした時に、庁舎の費用を入れてもこれから債務負担の比率とかその辺は何とかやっていけますよという説明を受けたと思うんですけど。その時は恐らく、分かりませんが、7,000万円の支出っていうのは基本的にはある前提で収支計算をしていると思うんです。あそこで無くすという前提はないはずですよ。そういう意味ではこれから1億円というのは何とか出せる範囲なのかなという気がするんですけど、それ以上はどうなのかというと、この前の説明会では財政調整基金を使って出したら無くなると、それは貯金を取り崩していきただけなんで無くなるのはそうなんですけど、いかにもお金を出し続けると破綻しますよというような感じの説明であったような気がします。じゃあ残すためにどうしたらいいのということだと思うんですけど、私はAとBと2つ考えたんですけど。A案、要するに支出は1億円にとどめようということです。3,000万円と7,000万円これは今まで通りとして、設備投資に関わる部分が約12億円4,000万円あるわけですけど、名鉄との交渉なんですけれど15年の複利計算みたいな考え方をすれば、当初に8億円出せば15年で12億円出したの

と同じような形になるわけです。今21億円くらい財政調整基金があるので、そこで8億円これを15年分出せば一時の支出で済むわけです。あとは1億円ずつこれまで通り出すということであれば何とかお金としてやりくり出来る可能性があるんじゃないかと。ただですね、出せばいいってものではないので、御嵩町の支出を少しでも減らすように可児市と交渉する、県や国から補助金をもらう、関係団体や町民から支援を受ける、当然乗客を増やす努力、運賃以外の収入を増やす努力、そういうのは当然するという前提でこういう方法は考えられないでしょうかというもので、これだとみなし上下分離に相当近いもの。ただ、15年にわたっての計画に従って3億円とか4億円とか出していくのではなくて、頭に8億円出して12億円相当ということでやってもらうという考え方です。

もう一つは前も申し上げたんですけど、やっぱりみなし上下分離は結局今までの延命にすぎないので、将来に向けて状況を変えるというのは上下分離しかないんじゃないかなと。下は自治体、上は運行会社を募集する。下についてはお金がかかる話なので出来れば無償に近い形で名鉄から資産を譲り受ける。よくこれも話が出ていたと思うんですけど、名鉄としても残れば広見以降、犬山方面とか乗客は続くわけですから別に悪い話ではないですし、終わらそうというのであれば無償に近い形で譲っても可能性はあるんじゃないかというのが一つ。運行会社をどうやって募集するのっていうことになると思うんだけど、どんな運行会社があるかはよく分からないんですけど、この前の中川先生の話なんかを頼りにすれば、勉強会をやっておられる国交省とか県の担当部局から探す方法やコンサル先を紹介してもらうというのがあるし、中川先生経由でコンサルを紹介してもらったり、自らやっておられる民鉄三セク路線支援プロジェクトに支援を求めるとか、やるべきことはやるべきじゃないかという気がします。A 案と B 案、残したいんですけど単に残すということではなくて残すための努力をしていかなきゃいけないので。単なる延命で終わっちゃったら繰り返しになるような気がするの、こういう機会に一つステップを上げた残し方を考えていかなければいけないんじゃないかということで2案、残す考え方を整理してみたのが私の意見です。

委員長(山田徹さん)

はい、ありがとうございます。

ただいま鈴木委員からのご提案と言いますか、ご意見等を聞いてご意見のある方はお願いしたいと思いますが。

清水委員。

委員(清水亮太さん)

質問なんですけど、3パーセントの複利計算はどういうことか教えてほしいです。

委員長(山田徹さん)

鈴木秀和委員。

委員(鈴木秀和さん)

一応金利を3パーセントと仮定するわけです。今だんだん上がって来てますから。1億円の3パーセントを考えると、10億円をもし置くと1年で1.03、その次は10億円×1.03×1.03、1.03が何乗、何乗、何乗となっていきます。それを15年で計算するとだいたい1.55倍になる。したがって12億円出すということは割る1.55をすれば今のお金にすれば8億円と計算出来ますよということです。それでいいかどうかは別の問題ですけど。今お金を出せば将来の12億円になるということなので、今8億円出してそれでやってくださいという交渉です。ばらばら12億円ではなくて今8億円出すので、その中で投資部分を賄って下さいと、そうすれば名鉄も資金で始めに1億円使うのかどこで使うのか分かりませんけれども、15年全体で見れば12億円相当になるんじゃないのという話です。

委員長(山田徹さん)

他にご意見のある方。

可児さとみさん。

委員(可児さとみさん)

鈴木委員の提案の部分なんですけれども本当に目から鱗で負担金を減らす方法をこれから模索していくしかないかなと思っていたんですけれども、そうやってローンで払えば金利が付いて実質高く払わなければいけないという状況からの発想だと思うんですけれども、前払いであとは名鉄の方でお金を運用して先々の12億円を前払いするよという発想は初めて気付いたので。名鉄に前払いをして運用してもらうのか御嵩町で資金をこれから貯めていくために運用とかあるかなと、鈴木委員の提案から思いました。

委員長(山田徹さん)

はい、ありがとうございました。

他に意見のある方は。

谷口委員。

委員(谷口鈴男さん)

この時期に中間報告をしなければいけない理由は何があるんですか。

委員長(山田徹さん)

特別委員会を作った関係で、やはり今定例会の最終日に今ある状況を議長を通じて町執行部へ伝えておきたいという意図を私は考えております。

谷口委員。

委員(谷口鈴男さん)

物事を掌握していくのはいかなものかと思うんです。ただ、今までの議論の中で、それから色々な意見の集約はされていると思うんですけど、十分検証された内容であるか、まだちょっと不足しているんじゃないかという思いがあります。一番基本なのは何で存続が必要なのかという一番の検証をここをしっかりと具体化していかないと本当の存続に繋がっていかない可能性があるという思いを持っています。ですからもう少し存続のための理論武装を検証する中で根拠を引きずり出してくる必要性があるんじゃないかと。それをある程度集約出来た段階での中間報告ということであるなら非常に大きな意味があると思うんですけど。まだどうかなと、若干そんな思いがあります。

委員長(山田徹さん)

はい、ありがとうございます。

ここで暫時休憩します。

午後1時17分 休憩

午後2時15分 再開

委員長(山田徹さん)

休憩を解いて再開します。

先ほど中間報告について意見があったわけなんですけれども、今日それをまとめ上げることは無理ということもありまして、素案をある程度叩き上げた段階で皆さんに見ていただいて、次回に向けて会議を行っていきたいと思います。

次回につきましては、3月14日、総務建設産業常任委員会の後に引き続いて行いたいと思いますのでよろしくお願い致します。

その他意見ございますでしょうか。

鈴木秀和委員。

委員(鈴木篤志さん)

素案の提案をしてもいいですか。

委員長(山田徹さん)

出来ればお願いします。

素案についてご意見あるということでしたら、出来ましたら10日月曜日の夕方までによろしく願います。

それでは次回は3月14日ということで、本日の特別委員会はこれにて閉じさせていただきます。

ありがとうございました。

午後2時17分 閉会

上記のとおり会議の経過を記載して、その相違のないことを証するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

会議録署名者

名鉄広見線(新可児駅～御嵩駅間)問題対策特別委員長

山 田 徹